

- ・第52回定期大会
- ・共済の窓口
- ・スキルアップセミナー
- ・政策フォーラム
- ・石上としお意見交換
- ・石上としお巡回オルグ

# とちぎ

電機連合栃木地方協議会機関紙

発行者：中原 康則

編集者：島田 猛

事務局：329-1105

栃木県宇都宮市中岡本町2784-3 飛鳥ビル2F

TEL：028-671-3333 FAX：028-673-7777

## 2018・2019年度運動方針が決定される ～ 第52回定期大会 ～



2018年9月26日(水)宇都宮市のホテルニューオタニにおいて定期大会が開催されました。

当日は、電機連合本部から野中中央執行委員長、矢田わか子参議院議員や連合栃木から加藤会長、中央労働金庫から青木常務理事、全労済から印南本部長、組織内を含む各級議員など多くのご来賓の方々にご臨席を賜りました。

2017年度経過報告と、議案審議では、2018・2019年度運動方針に関する件その他2018年度の予算など全議案が満場一致で可決されました。

最後は、中原議長のガンパロー三唱で、地協の更なる飛躍・発展を全員で誓いました。

11月16日(金)昼休みに(電)共済代理店である(株)マックスおよび全労済の「共済の窓口」を開設いたしました。

利用者の皆さまからは、「定年が近づいていて、年金共済の受け取り年齢になります。いつから、どのような受け取り方法があるの?」「退職後も、電機連合の共済は継続できるの?」などの質問をいただきました。

また、加入の相談をいただいた皆さまからは、「担当者の笑顔がすごく良かった」「質問に丁寧に答えてくれた」

「もう一度詳しくお話聞きたい」などの感謝の声を多数いただき、共済加入を検討いただく良い機会となりました。

東芝ライテックユニオン  
宮本恵介



11月7日(水)に(株)マックスおよび全労済の担当者にお越しいただき「共済の窓口」を開設いたしました。昼休みの時間だけでしたが、若手組合員の方達が6名相談されていました。現行の保険見直し・ねんきん共済などの相談をされていたようです。単組としても日常の相談活動は行っておりますが、専門知識を持つ担当者に相談できる機会として定期的な「共済の窓口」

の開設は必要だと感じました。

## 生活の安心を確認 ～ 共済の窓口 ～



東光高岳労組  
斉藤龍一

## 新任組合役員が参加 ～ 地協加盟組合スキルアップセミナー ～

10月19日(金)に全労済栃木推進本部会館にて役員スキルアップセミナーが開催されました。中央労福協事務局長栗岡勝也氏から労福協活動の歴史を、電機本部中央執行委員山田佐智生氏よりクイズ形式を用いて役員が知っておくべき基礎知識を講演いただきました。最後に共済拡充に向けた取り組みについて(株)マックスと全労済栃木推進本部から説明をうけました。セミナー終了後は参加者の方とお話をする事ができました。皆さん新任の方で、これから組合活動をしていく同期の仲間として交流を深めることができ、お互いにより活動をしていけたらと感じました。

MEMC 労働組合 小谷 宏樹





10月13日(土)にホテル三日月(日光市)にて政策フォーラムを開催しました。中原議長の挨拶の後、電機連合の梅田書記長から、民主主義の危機として、先の国会で成立した8本の労働法改正案が1本に束ねられた働き方改革関連法案や、穴だらけのIR(カジノを含む統合型リゾート実施)法案、参院「合区」の現職救済を目的とした公職選挙法改正などの問題点について説明し、今の日本に必要なのは緊張感ある二大政党的体制であり、その一翼を担うのが改革中道政党の国民民主党であると語っていました。

その後、電機連合組織内公認候補の石上としお議員が壇上に立ち、これまでの5年間の取り組み、そして職場から寄せられた電機の仲間の声を石上議員の思いとして、「産業」「職場」「暮らし」の3つの政策に込め、それぞれについて熱く語っていました。



最後に参加19組織の代表者から第25回参議院議員選挙での必勝に向けた決意表明を行い、声高らかにガンバロー三唱で締めくくりました。閉会后、石上議員を囲んで参加者全員で全体写真撮影を行い、栃木地協としての一体感の醸成が図られました。

働く者の代表を再び国政へ  
 ↳ 石上としお議員と意見交換 ↳

10月29日(月)に地協加盟組合の代表者である常任幹事および地協会計監査、地域フォーラム協力議員の山田美也子県議会議員の21名で参議院議員会館を訪れ、「石上としお」参議院議員の国政報告および意見交換会を行いました。

当日は第197回臨時国会の会期中でもあり、8件の提出法案を中心に国政報告を頂きました。また、今回は意見交換に多くの時間を割いて頂き、約1時間の間、



石上としお参議院議員  
 政策を語る

国政に関することや各組合で課題となっていることなどをテーマに活発な意見交換を行いました。

今回の交流を通じて、「石上としお」参議院議員の政策や政治にかける思いを再確認すると共に電機産業や働く者の代表者を国会に送り出すことの重要性、そして、国と県が連携強化することで、よりよい社会、よりよい栃木県を築いていけるものと感じました。



質問する米川さん(第一電子労組)と山田県議

日立AP・日立JC

石上としお国政報告会

FTN・富士通小山・富士通化成

東芝ライテックユニオン鹿沼支部  
 全力で挑む。石上としお 激励集会

東光高岳

デンソーテン

MEMC

東芝ライテック

第一電子工業

**全力で挑む。**  
 ~「石上としお」巡回オルグ~